

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する 活動報告レポート

[2024 年第 2 四半期（4 月～6 月）]

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポートについて

本レポートでは、2024 年 4 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までの間に JVN iPedia で登録をした脆弱性対策情報の統計及び事例について紹介しています。

目次

1. 2024 年第 2 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況	- 2 -
1-1. 脆弱性対策情報の登録状況	- 2 -
2. JVN iPedia の登録データ分類.....	- 3 -
2-1. 脆弱性の種類別件数	- 3 -
2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合.....	- 4 -
2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数	- 6 -
2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況	- 7 -
3. 脆弱性対策情報の活用状況	- 8 -

1. 2024 年第 2 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia（<https://jvndb.jvn.jp/>）」は、ソフトウェア製品に関する脆弱性対策情報を 2007 年 4 月 25 日から日本語で公開しています。システム管理者が迅速に脆弱性対策を行えるよう、1) 国内のソフトウェア開発者が公開した脆弱性対策情報、2) 脆弱性対策情報ポータルサイト JVN^(*) で公表した脆弱性対策情報、3) 米国国立標準技術研究所 NIST^(*) の脆弱性データベース「NVD^(*)」が公開した脆弱性対策情報を集約、翻訳しています。

1-1. 脆弱性対策情報の登録状況

～脆弱性対策情報の登録件数の累計は 208,034 件～

2024 年第 2 四半期（2024 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで）に JVN iPedia 日本語版へ登録した脆弱性対策情報は表 1-1 の通りとなり、2007 年 4 月 25 日に JVN iPedia の公開を開始してから本四半期までの、**脆弱性対策情報の登録件数の累計は 208,034 件になりました**（表 1-1、図 1-1）。なお、2024 年第 2 四半期に JVN iPedia の登録件数が減っている理由は、当該期間中に JVN iPedia での脆弱性情報の公開が遅れているのではなく、NVD における脆弱性情報の公開が遅れているためです。

また、JVN iPedia 英語版へ登録した脆弱性対策情報は表 1-1 の通り、累計で 2,843 件になりました。

表 1-1. 2024 年第 2 四半期の登録件数

	情報の収集元	登録件数	累計件数
日本語版	国内製品開発者	1 件	281 件
	JVN	87 件	15,410 件
	NVD	1,375 件	192,343 件
	計	1,463 件	208,034 件
英語版	国内製品開発者	1 件	285 件
	JVN	55 件	2,558 件
	計	56 件	2,843 件

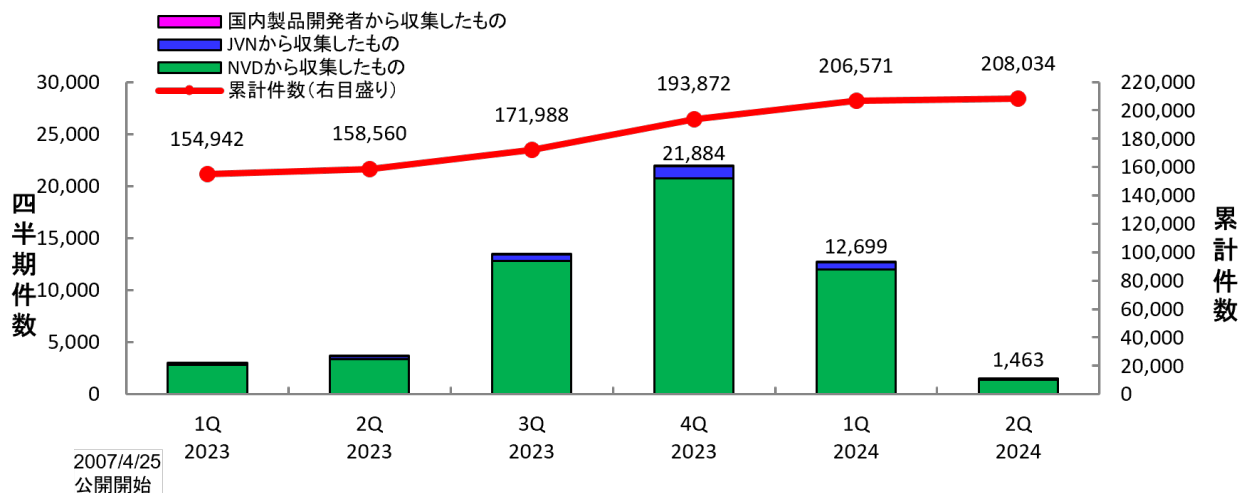


図 1-1. JVN iPedia の登録件数の四半期別推移

(*) Japan Vulnerability Notes : 脆弱性対策情報ポータルサイト。製品開発者の脆弱性への対応状況を公開し、システムのセキュリティ対策を支援しています。IPA、JPCERT/CC が共同で運営しています。 <https://jvn.jp>

(*) National Institute of Standards and Technology : 米国国立標準技術研究所。米国の科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う機関 : <https://www.nist.gov>

(*) National Vulnerability Database : NIST が運営する脆弱性データベース。 <https://nvd.nist.gov>

2. JVN iPedia の登録データ分類

2-1. 脆弱性の種類別件数

図 2-1 は、2024 年第 2 四半期（4 月～6 月）に JVN iPedia へ登録した脆弱性対策情報を、共通脆弱性タイプ一覧(CWE)によって分類し、件数を集計したものです。

集計結果は件数が多い順に、CWE-79（クロスサイトスクリプティング）が 256 件、CWE-476（NULL ポインタデリファレンス）が 69 件、CWE-416（解放済みメモリの使用）が 57 件、CWE-862（認証の欠如）が 42 件、CWE-22（パス・トラバーサル）が 29 件でした。最も件数の多かった CWE-79（クロスサイトスクリプティング）は、悪用されると偽のウェブページが表示されたり、情報が漏えいしたりするおそれがあります。

製品開発者は、ソフトウェアの企画・設計段階から、脆弱性の低減に努めることが求められます。IPA ではそのための資料やツールとして、開発者が実施すべき脆弱性対処をまとめた資料「[脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド](#)^(*)4)」、開発者や運営者がセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「[安全なウェブサイトの作り方](#)^(*)5)」、脆弱性の仕組みを実習形式や演習機能で学ぶことができる脆弱性体験学習ツール「[AppGoat](#)^(*)6)」などを公開しています。

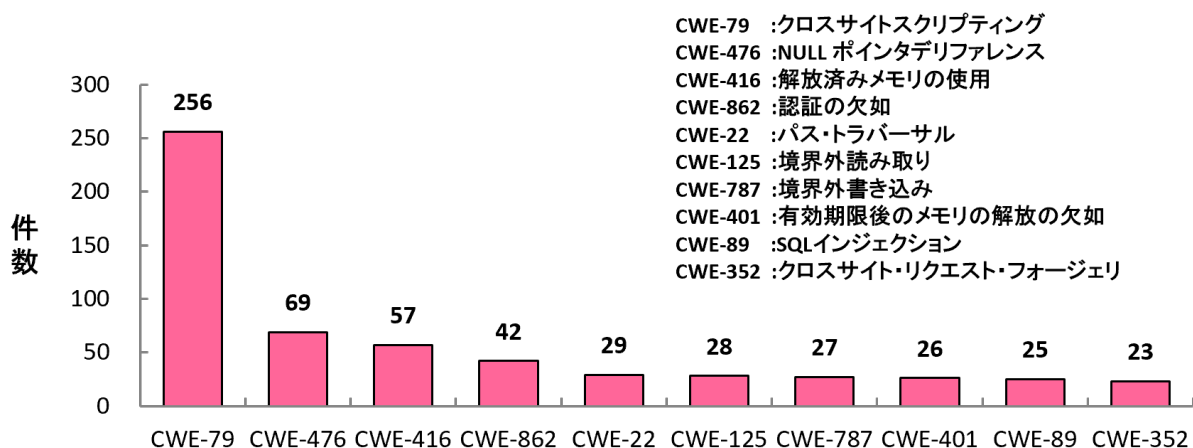


図 2-1. 2024 年第 2 四半期に登録された脆弱性の種類別件数

^(*)4) IPA：「脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド」
<https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/forvendor.html>

^(*)5) IPA：「安全なウェブサイトの作り方」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html>

^(*)6) IPA：「脆弱性体験学習ツール AppGoat」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/appgoat/index.html>

2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合

図 2-2 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv2 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2024 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、レベル 3 が全体の 43.0%、レベル 2 が 46.6%、レベル 1 が 10.4%となっており、情報の漏えいや改ざんされるような危険度が高い脅威であるレベル 2 以上が 89.6%を占めています。

なお、2024 年に JVN iPedia における CVSSv2 の登録件数が大幅に減少した理由は、JVN iPedia の情報収集元である NVD において CVSSv2 の評価が積極的には行われていない⁽⁷⁾ ためです。

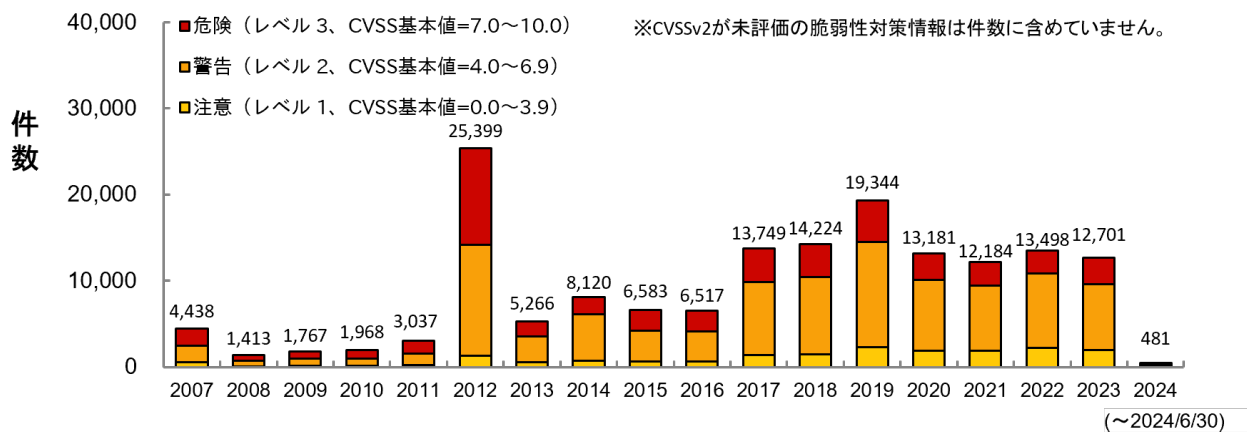


図 2-2. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv2)

⁽⁷⁾ NIST : 「Retirement of CVSS v2」
<https://nvd.nist.gov/general/news/retire-cvss-v2>

図 2-3 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv3 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2024 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、「緊急」が全体の 16.3%、「重要」が 37.3%、「警告」が 44.9%、「注意」が 1.5%となっています。

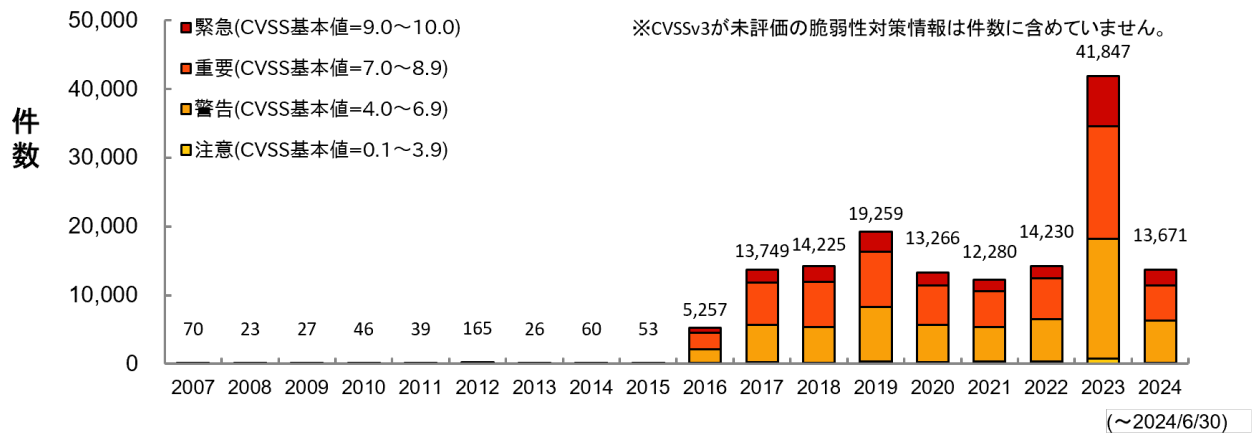


図 2-3. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv3)

既知の脆弱性による脅威を回避するため、製品開発者は常日頃から新たに報告される脆弱性対策情報に注意を払うと共に、**脆弱性が解消されている製品へのバージョンアップやアップデート**などを速やかに行ってください。

なお、新たに登録した JVN iPedia の情報を、RSS 形式や XML 形式^(*)で公開しています。

^(*) IPA : 「JVN iPedia データフィード」
<https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/>

2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種別別件数

図 2-4 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報をソフトウェア製品の種別別に件数を集計し、年次でその推移を示したものです。2024 年で最も多い種別は「アプリケーション」に関する脆弱性対策情報で、2024 年の件数全件の約 73.7%（10,430 件／全 14,161 件）を占めています。

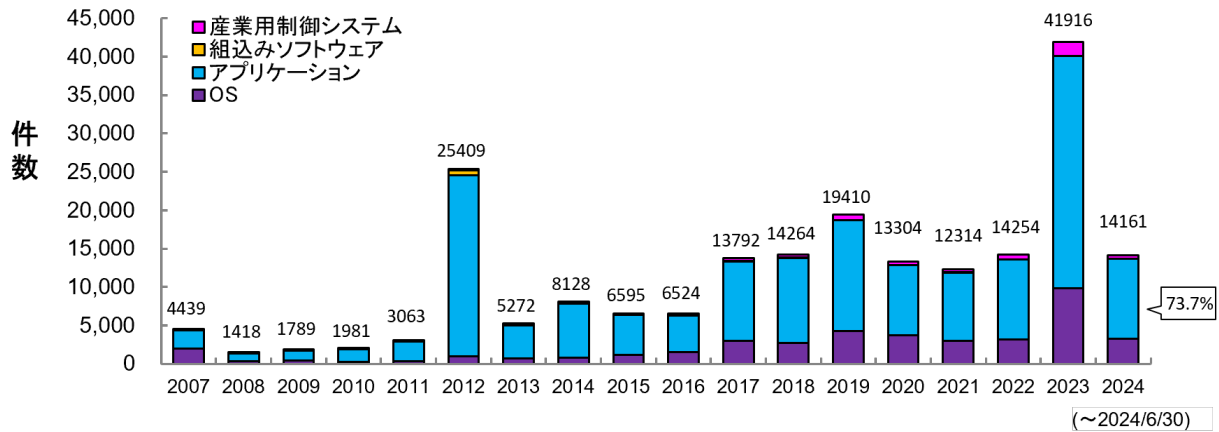


図 2-4. 脆弱性対策情報を公表した製品の種別別件数の公開年別推移

図 2-5 は重要インフラなどで利用される、産業用制御システムに関する脆弱性対策情報の件数を集計し、年次でその推移を示したものです。これまでに累計で 6,271 件を登録しています。

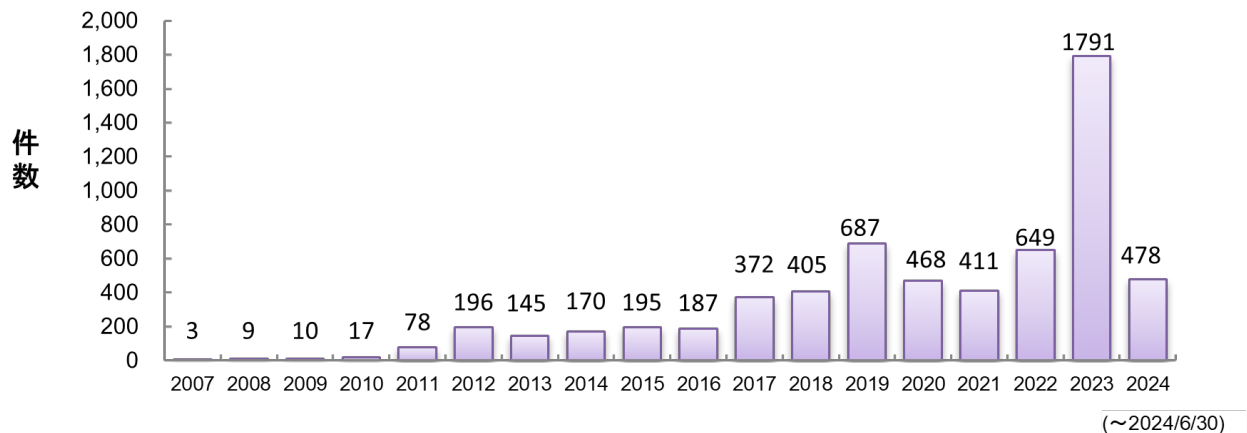


図 2-5. JVN iPedia 登録件数（産業用制御システムのみ抽出）

2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況

表 2-1 は 2024 年第 2 四半期（4 月～6 月）に JVN iPedia へ登録された脆弱性対策情報の中で登録件数が多かった製品上位 20 件を示したものです。

本四半期においては Linux Kernel が 1 位となりました。2 位以降は Google、アップル、マイクロソフトなど、幅広いベンダの OS がランクインをしました。

JVN iPedia は、表に記載されている製品以外にも幅広い脆弱性対策情報を登録公開しています。製品の利用者や開発者は、自組織などで使用しているソフトウェアの脆弱性対策情報を迅速に入手し、効率的な対策に役立ててください^(*)。

表 2-1. 製品別 JVN iPedia の脆弱性対策情報登録件数 上位 20 件 [2024 年 4 月～2024 年 6 月]

順位	カテゴリ	製品名（ベンダ名）	登録件数
1	OS	Linux Kernel (Linux)	252
2	OS	Android (Google)	144
3	CMS	Adobe Experience Manager (アドビ)	143
4	OS	Fedora (Fedora Project)	42
5	OS	Microsoft Windows Server 2022 (マイクロソフト)	41
5	OS	Microsoft Windows Server 2019 (マイクロソフト)	41
5	ブラウザ	Google Chrome (Google)	41
8	OS	Microsoft Windows 11 (マイクロソフト)	40
9	OS	Microsoft Windows 10 (マイクロソフト)	39
10	OS	macOS (アップル)	30
11	OS	Microsoft Windows Server 2016 (マイクロソフト)	27
11	OS	Apple Mac OS X (アップル)	27
13	OS	Microsoft Windows Server 2012 (マイクロソフト)	19
14	OS	iOS (アップル)	17
14	OS	iPadOS (アップル)	17
16	OS	Microsoft Windows Server 2008 (マイクロソフト)	16
17	OS	tvOS (アップル)	11
17	業務用ソフトウェア	suiteCRM(SalesAgility)	11
19	OS	watchOS (アップル)	10
19	OS	Debian GNU/Linux (Debian)	10

^(*) IPA：「脆弱性対策の効果的な進め方（実践編）」

<https://www.ipa.go.jp/security/reports/technicalwatch/20150331.html>

3. 脆弱性対策情報の活用状況

表 3-1 は 2024 年第 2 四半期（4 月～6 月）にアクセスが多かった JVN iPedia の脆弱性対策情報の上位 20 件を示したものです。

本四半期は、上位 20 件中 17 件が脆弱性対策情報ポータルサイト JVN で公開された脆弱性対策情報でした。

表 3-1. JVN iPedia の脆弱性対策情報へのアクセス 上位 20 件 [2024 年 4 月～2024 年 6 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
1	JVNDB-2022-012258 The JForum Team の Jforum におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	6.8	8.8	2023/8/28	13,491
2	JVNDB-2024-000037 NEC Aterm シリーズにおける複数の脆弱性	-	8.8	2024/4/5	8,447
3	JVNDB-2024-003292 The PHP Group の PHP における OS コマンドインジェクションの脆弱性	-	9.8	2024/6/11	7,469
4	JVNDB-2024-003008 Sangoma Technologies 製 CG/MG family driver cg6kwin2k.sys における IOCTL に対する不十分なアクセス制御の脆弱性	-	6.1	2024/3/22	7,001
5	JVNDB-2024-000040 バッファロー製無線 LAN ルーターにおける複数の脆弱性	-	6.8	2024/4/15	6,583
6	JVNDB-2024-000036 スマートフォンアプリ「Yahoo! JAPAN」におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	4.3	5.0	2024/3/29	6,412
7	JVNDB-2023-001220 Apache Tomcat の Apache Commons FileUpload におけるサービス運用妨害（DoS）の脆弱性	-	7.5	2023/2/22	6,344
8	JVNDB-2024-000041 WordPress 用プラグイン Forminator における複数の脆弱性	-	9.8	2024/4/18	6,334
9	JVNDB-2024-003050 キーエンス製 VT STUDIO における DLL 読み込みに関する脆弱性	-	7.8	2024/4/1	6,329
10	JVNDB-2024-003051 フルノシステムズ製マネージド・スイッチ ACERA 9010（MS モード以外で使用时）における初期パスワードに関する脆弱性	-	8.8	2024/4/2	6,130
11	JVNDB-2024-003119 NETGEAR 製ルーターにおけるバッファオーバーフローの脆弱性	-	8.8	2024/4/25	6,064

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
12	JVNDB-2021-011339 JForum におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	3.5	5.4	2022/7/27	6,039
13	JVNDB-2024-000903 TvRock におけるサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性	5.0	5.3	2024/4/23	5,965
14	JVNDB-2024-003025 エレコム製無線 LAN ルーターにおける複数の脆弱性	5.8	8.8	2024/3/27	5,932
15	JVNDB-2024-000038 WordPress 用プラグイン Ninja Forms における複数の脆弱性	-	5.4	2024/4/8	5,928
16	JVNDB-2024-000042 RoamWiFi R10 における複数の脆弱性	-	8.8	2024/4/24	5,923
17	JVNDB-2024-003068 Cente ミドルウェアにおける複数の脆弱性	-	5.3	2024/4/5	5,905
18	JVNDB-2024-003108 Armeria-saml における SAML メッセージ取り扱い不備	-	9.1	2024/4/22	5,889
19	JVNDB-2024-000901 TvRock におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	4.3	4.3	2024/4/23	5,850
20	JVNDB-2024-003049 キーエンス製 KV STUDIO および KV REPLAY VIEWER における複数の脆弱性	-	7.8	2024/4/1	5,802

表 3-2 は国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報でアクセスの多かった上位 5 件を示しています。

表 3-2. 国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報へのアクセス上位 5 件 [2024 年 4 月～2024 年 6 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
1	JVNDB-2024-003026 日立ディスクアレイシステムにおけるログファイル の脆弱性	-	-	2024/3/27	4,757
2	JVNDB-2023-002510 Hitachi Device Manager における複数の脆弱性	-	9.0	2023/7/19	4,555
3	JVNDB-2023-002511 Hitachi Command Suite 製品におけるファイルお よびディレクトリパーミッションの脆弱性	-	6.6	2023/7/19	4,516
4	JVNDB-2023-002512 Hitachi Replication Manager における EL インジ ェクションの脆弱性	-	7.3	2023/7/19	4,480
5	JVNDB-2024-003181 DT900 における認証不備の脆弱性	-	-	2024/5/10	4,438